

# 夏の星(シャコタン)



第2号

2011年10月07日発行

(生徒・保護者向け) 美国中学校事務便り 玉井耕平

秋です。野山はすすきや野菊が海風に揺れていて、トンボの姿ももう見かけられなくなりました。学校祭も先日終了してしまいましたが、「装飾・合唱・演劇」と力を尽くしたみなさんお疲れ様でした。それぞれ様々な部分・場面での熱演と工夫や努力のあとが感じられてよかったです。でも、終わってしまうと、何かどこ寂しい気がします。さて、今年も九月に全道の学校事務の研究大会に参加させていただきました。その報告をします。

## 8/30~9/02 全道の研究大会へ行ってきました北斗市・函館市

1、往路 朝、九時前に出発し美国小学校と共和町西陵小学校の事務職員と同じ車で会場地の一つである函館を目指しました。5号線をひたすら南下して走り、八雲の駅前の「まるみ」と言うお蕎麦屋さんで昼食タイムにしました。さて、ここのお蕎麦、天麩羅そばを食べましたが、麺はやや太めで天麩羅は海老・茄子・えのき・しめじの四品で900円。美味しかったのですが、つゆがややしょっぱかったのが残念でした。

そこから一路函館へ！といいつつ、二時半に湯の川の「銀月」で名物のお団子を手に入れ車内でお八つをいただきながら会場の五稜郭へ辿り着きました。前日の会議には、各地より集まった仲間により焦点化した討議が行われ、二時間ほどで終了してこの日の予定を終えました。

### 2、大会一日目(9月1日木曜日)

朝から気持ちのよい青空が広がっていました。北斗市の「カナデール」という総合文化センターで全体会が開かれ、名達会長の挨拶の後、国立教育政策研究所の藤原文雄氏が『学びの環境デザイナーとしての学校事務職員』と題して講演してくれました。

内容は東大教授であった持田栄一先生の公教育論・学校事務論を解釈しつつ北海道の学校事務に提言するというものですが、積極的な提案姿勢に好感を持ちつつも、「学校間連携と共同実施は同じだ」など論旨の展開が強引でやや無理のある印象も持ちました。

写真・会場入り口で→



午後からは講演者の藤原氏と尾崎君子氏(兵庫県立大学環境人間学部教授)が「北海道の学校事務—現在・過去・未来」のテーマで対談し、それぞれの教育と学校をめぐる状況認識から持論を展開してくれました。

この対談では「持田栄一の正調継承者」と云われたりもする尾崎氏の北海道の実践に対する暖かなまなざしと冷静な語り口に対し、藤原氏は自分の考える学校事務のあり方と北海道の私たちが考え実践してきた方向性の違いに戸惑っていたのか、やや感情的で決めつける様な物言いが気になりましたが、なかなか、面白い対談を楽しませていただきました。6時からの全道交流会では、私が今回最後の参加になりそうだと聞きつけた若い仲間からも握手を求められたりしてほろ酔い気分を増幅させてホテルへ戻りました。

写真・名達会長→



### 3、大会二日目(9月2日金曜日)

この日は朝から曇りがちでした。私は知り合いが参加していることもあり、昨年に引き続き「学校づくりと学校事務」という分科会に出席しました。レポートテーマが「学びを充実させる取り組み」であるとか×・・・「学校事務実践の浸透を目指して」とか興味深いものだったのですが、講演者の藤原氏からの質問への回答にかなりの神経と時間を要したり、また意見交流や討議も分科会テーマやレポートテーマの方向には進まずに、学校間連携の実態報告や運営の難しさなどに話が流れ、ほとんど具体的な実践交流や意見交換にならなかったことが私としては残念でした。それでも私は、美国小学校との連携の話を出して、討議には参加してきました。でも、もっと、具体的な実践の話がしたかったな・・・。

### 4、帰路

お昼過ぎに大会は終了しましたが、台風が北上していて、既に日本海側の国道や道道の数本が通行止めになっていました。昼食は、五稜郭近辺のお蕎麦屋さんに入り天候の具合を気にしながら暖かな胡麻そばを頂きました。私は既に職場の先生方のお土産としてスナックのボンペティを手に入れていたのですが、ほかの二人がまだだったので、近くの風月堂によりました。ところがこの時、糖尿病もちの約一名がシュークリームとエクレーヤをもぐもぐとしているのにびつくり！(この一名は、黒松内道の駅でもソフトクリームもたべてました。あはは)。この後、あちこちの川が増水しているのを横目に、5号線をゆっくり北上し倶知安の中華店で夕食を取り帰宅しました。全道事務研に参加するのはこれが最後だと思います。沢山の仲間と交流し、色々な考え方と実践を語り合える機会を与えてくれた美国中の皆さんに深く感謝しています。以上報告。

## 地域からの声・先輩とうじょう・その2・木村喜一さんの巻

今年度の企画として「中学校の先輩とうじょう」と云うコーナーを設けました。その二番手として町内で菓子店舗の若旦那として活躍している木村さんをお願いし、当時の様子などの話をお聞かせいただきました。以下木村さんに聞いたお話です。

### 『木村さん自身のこと』

昭和42年4月生まれ 美国中学校第36回卒業生 高校卒業後小樽の老舗の和菓子屋「六美」にて6年間修業 現在 ご家族と共に町内で菓子業に力を注いでいる。

### 『中学校時代の様子』

生徒数は2百人弱で、各学年2クラスだった様に思います。中学二年生になるとときに現在の校舎(新校舎)へ入ったと記憶しています。〈事務便り〉というのは見たことがありません。担任は体育の鈴木先生でした。部活は友達に誘われ吹奏楽部に入り大橋則夫先生の指導でアルプホルンを吹いていましたが、ついていくのに必死でした。演奏した曲目としては「宇宙船艦ヤマト」やビートルズの「イエスタディ」が忘れられません。

思い出としては、当時HBCのTV番組「あかねの空」というのがあって、笠智衆さん真野響子さんや木の実ナナさんが出演していましたが、何故か積丹町での撮影がありそこに美国中のブラスバンド部で出演したのが一番ですね。

部活は、陸上や卓球などが盛んで後志大会や全道大会にも出場していました。夏は、海に潜って、しかられない程度に雲丹(ちよっぴりね)やモズクを取るのが楽しみでした。スキーが大好きで、冬は、美国のスキー場で毎日滑っていました。今でも、冬が来るとニセコへ出かけてジャンプなどフリースタイルの技を磨いています。

### 『今思うこと』



子供のころは家の手伝いするのは当たり前で、終わった後に、友達の家にとむろして遊び、色んなことをそこで覚えました。僕の中学生時代からみると今の美中生は礼儀正しいですね。自分たちはしてなかった様に思います。きちんと挨拶をしてくれます。あの時代もイジメみたいのものはあったと思いますが、陰湿な性格のものではなかったと思います。みなさんでイジメの無い良い学校をつくって下さい。

僕もこの世界に入って二十五年を過ぎましたが、後輩のみなさんにも喜んでもらえるような新しいお菓子づくりにも、そろそろ挑戦したい

と思っています。頑張ります!・・・木村さんお忙しい中を有難うございました・・・

## 間もなく 図書 沢山はいります!

夏休み前に、皆さんの希望も取りながら発注した図書が、間もなく入荷し図書室に並びます。読書は心の栄養です。たくさん読んでたっぷり栄養を取りましょう。

### 以下題名(作品名)

○キノの旅14○犬と私の10の約束○梅しゃん○八つ墓村○謎解きはディナーのあとで○大相撲力士名鑑○仏像100選全図像○王さまゲーム○夜明けの街で○11文字の殺人○悪魔の手毬唄○デルトラの伝説○殺人現場は雲の上○潮騒○ゲド戦記全六巻セット○初恋のプレリュード○怖い話○友情○火垂るの墓○楽隊のうさぎ○生きのびるため○フォトジャーナリストの眼○山椒魚○山の向こうは青い海だった○知識無用の芸術鑑賞○沈黙の春○詩とことば○風の谷のナウシカ○生まれ出づる悩み○森よ1○生きれ○小児病棟の四季○サラダ記念日○カムイ・ユーカラ○ねらわれた星○老人と海○沈黙○野村萬斎の狂言○ものを食う人々○十五歳の残像○難民支援の現場から○天平の薔○日暮らし○TUGUMI○いちご同盟○不思議の国のアリス○ぼくらの七日間戦争・・・のほか沢山そろいます!



### 『昭和の話』VOL2

僕が中学生の時代は、学校を卒業してすぐに働く人も今より多くいました。男子だと職人となったり町工場で働いたりしてましたし、女子は中央バスの車掌(バスガール)や三馬ゴム第一ゴムの職工さんになったりしていました。働くことが好きな人もいましたが、家庭の事情で就職する人が多かった時代です。

高校に入った年の晩い秋、何故かお尻に、できものがでてきました。最初は我慢していましたが、痛くて椅子にも座っていられなくなり、学校の帰りに外科に寄りました。

「そこにうつぶせに寝て、パンツも下げてお尻を出すように」と医者に言われて、ぎこちなくパンツを下ろした途端、看護婦さんと眼が合いました。《ドキッ!》その人は中学時代の同級生でした。昼間働いて夜に定時制高校に通っていたのです。恥ずかしくて心臓が爆発しそうだった僕は、そのあと、どうやって病院を出たのか覚えていません。「明日また来るように」と言われたものの勿論行くことが出来ませんでした。つける薬も無くなって2・3日後の学校帰り、雪の降り出した道を病院の前に差し掛かった時。「玉井君これ・・・」と、玄関から駆け出してきた彼女が小さな包みを手渡し、かすかに微笑んで戻っていきました。中には僕の薬が入っていました。ちょっと嬉しい気持ちで歩く夕暮れの小樽の町には、一番星が輝き始め、街頭放送で「いつでも夢を」が流れてました。

# 夏の聖(シヤヨタ)



第3 (冬)号 2011年12月15日発行

(生徒・保護者向け) 美国中学校事務便り 玉井耕平

12月に入り校舎もグラウンドもすっぽりと雪の中になりました！小樽や札幌の街を歩くとクリスマスの飾り付けが賑やかさを増していますし、球技大会や終業式も近づいてきました。もうすぐ冬休みですね。

## 予算要望書を提出！

来年度の美国中学校の一年間の教育活動に要する費用を積算・精査して「H24年度美国中学校予算要望書」としてまとめ、11月4日に教育委員会へ提出しました。来年は生徒数が47名になりそうなこと、教科書がいっせいに変わることを含め来年の本校の状況や活動をも想定しつつ、先生方は勿論のこと生徒の希望も聞きながらまとめられたものです。

具体的な内容としては

- 学校管理費 需用費105万 役務費2万 備品購入費28,7万
- 教育振興費 需用費82万 備品購入費44,6万 図書費20万 で総額284万円です。これ以外に●教科用図書関係で98万を要望しています。

この中では需用費で紙・インク・チョーク・コピー・マジックインキ・医薬品・実験実習材料を用意したり、役務費では保健室の毛布等の洗濯代に使用したりしています。

備品購入費には教室用の加湿器やカラーのプリンター、デジタルビデオカメラやビデオソフトなどが入っています。

この外にも、施設の整備に関係することで○放送が各教室に届くようにしてほしい○体育館ステージの幕や窓の遮光カーテンを直して欲しい○グラウンドに土を入れて欲しいなどの要望もしています。

(10月7日、当時の生徒会書記局から具体的要望の説明を受ける) →



## 生徒からの要望

要望書を作るにあたって、生徒の声も活かされるべきと考え八月に生徒会書記局に話を持ちかけました。話し合いの結果、生徒会書記局が「生徒からの要望」を取りまとめる活動に積極的に取り組むことになりました。

具体的な活動は、より良い学校を作るための取り組みと合わせて中央委員会を開きながら生徒全員に呼びかけ、あがってきた要望を精査し、十月に「生徒会からの要望」としてまとめてくれました。

色々出てきた意見を取りまとめるという作業は結構大変なものです。生徒の眼から見た今の美国中のハード的な部分についての意見を、生徒会役員がリーダーシップを発揮して取りまとめたという事実が今後の自治活動への大きな可能性を感じました。生徒会の皆さんの努力に拍手を送りたいと思います。

### 生徒会からの具体的要望内容

- ① 改善して欲しいところ○体育館ギャラリーカーテンロープの動かないところ○体育館カーテン下側の取替え○体育館トイレの臭気の改善更衣室ロッカーの破損修理○体育館ステージ幕の破損修理○グラウンドへの土補充○教室の窓の開きにくさの解消○合唱台に使用している椅子のぐらつきの解消



(トイレと更衣室の改修をした柴田さん)

- ② 購入して欲しいもの○ライトスタンド○更衣室のハンガーと机

以上の点を、10月7日に生徒会から要望されました。要望事項についての確認をしたところ、ほとんどの内容がもっともなものと確認できましたので、早速トイレの臭気や更衣室のロッカーとハンガー、さらにライトスタンドと机についても手配済みにあります。

トイレと更衣室の空気の流入口の設置にあたっては教頭先生が設計し柴田さんが施工してくれました。また、ハンガーについては教頭先生が寄贈してくれました。

しかし、その他の、ある程度の予算規模を要する大掛かりなもので配分された学校予算等に対応できないものについては、教育委員会へ提出する要望書に盛り込んで実現を目指すことにしています。

次年度の教育委員会からの予算配分を楽しみにしています！

## 積丹探訪・積丹をロケ地としたシネマの風景

今年度の企画として「中学校の先輩とうじょう」と云うコーナーを設けていますが、今回は一休みで、過去に積丹町をロケ地として作品化された映画を紹介しします。この中にDVD化されている作品があれば、その作品を通して昔の積丹町にタイムスリップが可能かもしれませんね？

### 《 ジャコ萬と鉄 》 1949年 東宝作品

監督 谷口千吉 脚本 黒澤 明、谷口千吉 撮影 瀬川順一

主演 三船敏郎、月形龍之介

○昭和21年、鯨漁場に出稼ぎ漁夫が集まってくる。その中に樺太帰りの男がいた。その名も人呼んで「ジャコ萬」。

北海道を舞台にした男と男の葛藤を描く。

### 《 ジャコ萬と鉄 》 1963年 東映作品

監督 深作欣二 脚本 黒澤 明、谷口千吉

撮影 坪井 誠 主演 高倉 健、丹波哲郎

○酒宴でジャコ萬に喧嘩を売られ、その場は軽くない

た鉄であったが・・・片目の無法者ジャコ萬と網元の九兵衛の息子・鉄との対決。

九兵衛の樺太での所業が複雑に影を落とす。 谷口千吉作品のリメイク。

### 《 北の岬 》 1976年 東宝作品

監督 熊井 啓 脚本 熊井 啓、桂 明子 撮影 金宇満司

主演 加藤 剛、クロード・ジャド

○帰国の途に着いたエンジニアの日本人と美しい外国人修道女との愛の彷徨を描いた辻邦生の同名小説の映画化。女は異国へ去り男は残される。結ばれない愛は悲しい。

### 《 日本の暑い日々 謀殺・下山事件 》

1981年 俳優座作品

監督 熊井 啓 脚本 菊島隆三

撮影 中尾俊一郎

主演 仲代達也、山本 圭

○下山事件を「謀殺」として新聞記者の追及が始まる・・・戦後の混乱期・昭和24年7月に起こった実話の映画化。第五回日本アカデミー賞を7部門で受賞。



( 北の岬・熊井啓監督 )

### 《 魚影の群れ 》 1983年 松竹富士作品

監督 相米慎二 脚本 田中陽造 撮影 長沼六男

主演 緒方 拳、十朱幸代

○厳しい北の海で小型船を操り、孤独で過酷なマグロの一本釣りに命をかける海の男たちと、寡黙であるが情熱的な女たちの世界を描く。吉村昭原作の同名の小説の映画化で、脚本は「セーラー服と機関銃」の田中陽造、監督は「ジョンベンライダー」の相米慎二が担当。

### 《 プロゴルファー織部金次郎3 飛べバーディー 》 1995年 レオナ他作品

監督 武田鉄矢 脚本 武田鉄矢、満友敬司

撮影 矢田行男 主演 武田鉄矢、財前直見

○いつまでたっても優勝できないプロゴルファーと、彼をめぐる人情深い人々との交流を描いたコメディシリーズの第三弾！

偶然知り合ったプロ2年目の日向みずきから得たコースの情報のお陰で予選は通過するものの・・・。



### 冬の思い出

小樽の天狗山のおもむき、松ヶ枝中学校があり、そのまた近くに最上小学校があります。冬にはスキー大会がありました。冬休みは、毎日天狗山や近くの山で、スキーを滑ることの出来る環境にあったのでアルペンは得意でした。小5の大会では、クラスみんなの期待を受けて回転に出場し、瘤に足をとられて二位に終わったものの満足でした。6年生の時は、風邪でひどい熱を出し、久しぶりに学校へ行くこと選手は既に決まっていたアルペンの枠は無く距離の競技に出場しました。初めてはく距離用スキーをつけて、最後尾からスタートし、前半の上り坂を歯を食いしばって頑張り、十名近くを抜いて中盤の下りにかかりました。この時、自分が表彰台のトップでトロフィーを手にする姿をふと想像してしまい、その瞬間僕は転倒していました。脱げたスキーは無情にも、勝手に坂を下り凄まじいスピードでコースを離れていきました。汗びっしょりになりながら、片足スキーで、スキーを追いかけ取り戻したときはビリになっていました。悔しくて、がっかりして・・・それでも気を取り直し走り続けると、途中までクラスの仲間が来てくれました。「タマどうしたガンバ!」「玉井君がんばって!」との声を聞いた途端、両の目から涙が溢れ出ました。次々とこぼれる涙を拭くこともせず、顔を上げた僕はみんなの待つゴールを目指しました。両腕に力をこめ、疲れた身体で走りに走ると、やがて、満場の拍手が僕を待ち受けていました。

昭和の時代に少年だった 玉井耕平



## 学校で直してほしい所・購入してほしい物の 要望結果報告

前号では『緑の募金』についてお知らせしました。

今回は、この前各学級で話し合っていた『学校で直してほしい所・購入してほしい物』を中央委員会でまとめ、生徒会執行部が事務の玉井先生に要望したので、その結果をお伝えします。

### ①改善してほしいところ

- ・体育館ギャラリーのカーテンロープが動かない2箇所を動くようにしてほしい。
- ・体育館ギャラリーのカーテンがボロボロなのでキレイにしてほしい。
- ・ステージの幕がボロボロなのでキレイにしてほしい。
- ・合唱台に使う長イスをグラグラしないようにしてほしい。
- ・三年生の教室の窓が動きにくいので動きやすくしてほしい。
- ・更衣室のロッカーが破損しているので元のように直してほしい。

→この前地震対策で校舎を直したので、すぐにいろいろ直すのは難しいです。

毎年少ないお金でやりくりしているのです。

ですが、生徒がより便利に校舎を使えるようにしなくてははいけません。

先生方との会議のあと、来年学校で予算要望するときに、教育委員会にお願いしてみます。またお金のかからない方法で出来ることも考えます。(合唱台や窓について)

- ・野球グラウンドに土を入れてほしい

→来年度の予算要望に入れていきます。

- ・体育館のトイレが臭い。消臭剤を置いても臭いので、臭さを無くしてほしい。

→消臭剤は化学物質で、生徒の体に良くないので増やせません。

工事になるかもしれないけれど、教育委員会と相談しながら対策を練ります。

- ・地震用すべり台、足の不自由な方のためのスロープ、教室にスピーカをつけてほしい。

→足の不自由な入学生・先生、その他さまざまな人が学校に来たときには必要です。

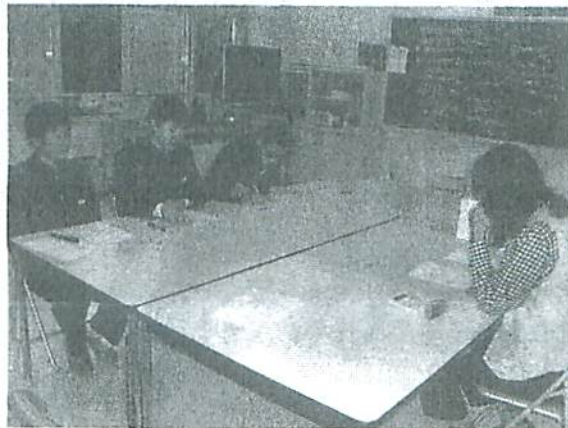
検討します。

- ・いろんなところの落書きを消してほしい。  
→汚れの度合いをみて、どれくらいの作業で消せるのか検討します。  
生徒の力で消せるのであれば、生徒会に呼びかけてもらい、消します。

## ②購入してほしいもの

- ・学校祭の司会等に使うライトスタンド  
→すぐに用意できると思います。
- ・男子更衣室にハンガーとそれをかけるところ、机が無いので、購入してほしい。  
(女子更衣室にはハンガーは37個あり、机もある)  
→便利さが男女のどちらかに偏ってはいけません。  
○ハンガーは、女子更衣室にあるハンガーを、半分くらい男子に移します。  
○机は、すぐには用意できないので、先生方と話し合って、次年度の要望にまわします。

## 【玉井耕平先生に要望書を提出する生徒会執行部】



☆回答をくださった玉井先生、そして話し合いに協力してくださった生徒のみなさん、ありがとうございました！

文責 生徒会執行部